

## 循環器病対策推進計画のパブリックコメントのご意見を踏まえた修正について

## 1. 概要

パブリックコメントでのご意見を踏まえ修正したもの

＜パブリックコメントの概要＞

(1) 募集期間：令和4年1月11日(火)～1月24日(月)

(2) 提出件数：6件

(3) 提出者数：2個人・団体

※詳細は、参考資料のとおり

## 2. 主な意見と対応

No	主要施策等	意見の要旨	計画への反映、具体的な対応
1	計画全般	全体的に「循環器病は生活習慣等の改善により予防が可能」との論調であり、その文脈のまま先天性心疾患に言及されていることに強い違和感がある。	<p>本計画は、国の「循環器病対策推進基本計画」を基本としており、国基本計画同様、全体目標を「健康寿命の延伸と循環器病の年齢調整死亡率の減少」とし、施策の柱の一つに「循環器病の予防や正しい知識の普及」を掲げている。</p> <p>このため、本計画では、循環器病のうち脳卒中や虚血性心疾患等罹患者数が多く、予防可能な疾患に対する記述が多くなっていることにご理解いただきたい。</p> <p>また、ご指摘のとおり、先天性疾患については生活習慣にかかわらず発症する病態であるため、本計画では、第4章個別施策において「(9) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策」という項目を設け、課題や対応について記載しているところである。</p> <p>なお、ご指摘を踏まえ、P1の2段落目「このように、循環器病は」を「このように、循環器病の多くは」に修正することとした。</p>
2	第4章個別施策 (9)小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策 (P44)	<p>移行医療について、言及されているものの、なぜ患者にとって移行医療が重要なのかを理解できる記述になっていない。</p> <p>先天性心疾患は病態が複雑であり、おおむね成人を対象とする内科医では対応できず小児科に返される患者が多いことが課題となっており、医療の連携が途切れたために治療中断となり、健康を損ねた事例がある。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P44【現状と課題】の以下の部分について、下線部分を追記し修正することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の治療法の開発や治療体制の整備等により、小児期に慢性疾患に罹患した患者全体の死亡率は、大きく低下した一方で、原疾患の治療や合併症への対応が長期化し、それらを抱えたまま、思春期、さらには成人期を迎える患者が増加しています。</li> <li><u>先天性心疾患を持つ成人患者の診療について、成人診療科の医師が必要な知識や臨床経験を積む機会が現状では限られていることから、成人診療科の医師と小児循環器科の医師との連携や、移行医療を含めた総合的な医療体制の充実が必要です。</u></li> </ul>

No	主要施策等	意見の要旨	計画への反映、具体的な対応
3	第4章個別施策 (9)小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策 (P44)	成人期の病態については多数のデータを提示しているが、先天性や小児期の疾患についてデータで提示がないのはなぜか。県内の先天性心疾患の患者数や小児循環器科の医療機関数、医師数、年間手術数、入院日数、障害者枠の就労者数など、提示できるデータがあるはず。	ご意見を踏まえ、小児循環器学会専門医数について、P44(表12)に記載することとしたい。その他のデータについては、現在のところ、精査が必要なものや把握が困難であるものがあり、今後の課題としたい。
4	第5章計画の推進体制 2 コロナウイルス感染症を踏まえた対策 (P50)	「新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策」にたばこ対策の重要性が抜けている。	ご意見を踏まえ、P50 2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策の記載を「新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子として、高齢者、基礎疾患（心血管疾患、糖尿病、慢性呼吸器疾患、慢性腎臓病等）（中略）」から「新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子として、高齢者、基礎疾患等（慢性呼吸器疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙）（中略）」に修正することとしたい。